2015 年度
高齢者医療・在宅医療総合看護研修
募集要項



2015 年 4 月 1 日

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター

長寿医療研修センター看護研修室

１．高齢者医療・在宅医療総合看護研修について

わが国は長寿社会が実現し、今後さらなる高齢化の進展が予測されています。高齢者医療･在宅医療の臨床現場での看護師の役割は、ますます期待されています。

近年、老年医学･老年看護学など老年期に関連した専門領域では、健やかに老い安らかに逝くということを基盤に、高齢者のこころ･からだの特有の変化を把握することや、高齢者に相応しい医療とケアの提供に関するシステム整備、社会保障のための施策を探求し、研究成果や知見も増えてきています。本研修では、臨床実践の場で標準的に活用していく老年医学や老年看護の専門的知識、及び高齢者医療･在宅医療における近年の社会的動向とアップデートな話題について学び、理解が深まるよう開催しています。

受講していただく看護師みなさまの実践に役立つ研修を目指しております。多数の申し込みお待ちしております。

高齢者医療･在宅医療総合看護研修の目的･目標

＜目的＞

老年期を生きる人びとの心身の特徴や取り巻いている環境を包括的・全人的に理解し、医学的な根拠や看護の専門知識に基づいて、高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成する。

＜目標＞

１） 老年期に現れやすい症候や機能障害について理解を深める。
２） 高齢者の健康問題の特定や全体像把握のためのアセスメント能力向上となる科学的根拠を習得する。
３） 高齢社会の動向や長寿社会のニーズを知り、高齢者にふさわしい医療とケアについて考えを深める。
４） 高齢者が人生を終える時期に必要なケアに関する知識や、近年の動向について習得する。
５） 高齢者の尊厳や人権を重視し、高い倫理性に基づく良質な医療とケアの実践について考えを深める。

2．高齢者医療・在宅医療総合看護研修の開講講座

前頁の本研修の目的と目標に沿って、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターでの臨床実践の特徴や研究活動を踏まえカリキュラムを作成しています。

2015 年度　高齢者医療･在宅医療総合看護研修の開講講座と科目目標

講座名	科目目標
高齢者の医療とケア１ 高齢者の医療とケア２ 高齢者の医療とケア３	1） 高齢者に特徴的な疾病・症候や、その予防・治療について理解する。 2） 高齢者を包括的に診る視点や、症状の観察、判断の要点について理解する。 3） 高齢者を全人的に捉え、ケアを提供するために必要な看護の専門知識について習得する。 4） 高齢者へのケアを実践・展開する上で主体性を尊重することや倫理的視点について理解する。
高齢者の在宅医療	1） 高齢者の在宅医療に関わる施策や在宅医療推進、地域包括ケアについて理解する。 2） 高齢者の在宅医療の実際や多職種の役割・活動について理解する。 3） 在宅療養中の高齢者と介護家族者を支援する制度や社会サービスについて習得する。 4） 高齢者の退院支援や多職種との連携に関する具体的方策について考察する。
高齢者のフレイルと予防ケア	1） 高齢者の要介護状態の前駆段階にあるフレイルの概念に関して理解する。 2） フレイルに関連する病態や疾患、その治療について理解する。 3） 科学的根拠に基づくフレイルの予防にむけた生活行動や習慣について理解する。 4） 健やかな老いに通じるよう高齢者の生活を支える上での看護の役割について考察する。
高齢者のリハビリテーション	1） 加齢によって生ずる心身機能の変化と特徴について理解する。 2） 高齢者の生活機能や ADL の維持向上にむけたリハビリテーションの重要性を理解する。 3） 高齢者のリハビリテーションに関わるセラピストの役割や、実際の活動について理解する。 4） 高齢者の生活機能の維持向上にむけた具体的な看護について考察する。
高齢者の EOL ケア（ｴﾝﾄﾞ ｵﾌﾞ ﾗｲﾌ･ｹｱ）	1） エンドオブライフ期の医療とケアに関する諸問題や近年の動向を理解する。 2） 非がん疾患の終末期の苦痛を緩和する医療の実際について理解する。 3） 高齢者の人生及び価値観、文化にも配慮する医療とケアについて理解する。 4） エンドオブライフ・ケアにおける看護の役割や、チームアプローチについて考察する。
認知症高齢者の看護	1） 認知症に関わる施策、認知症の病態や診断・治療について理解する。 2） 認知症を有する人に対する倫理的視点やパーソンセンタード・ケアの概念を理解する。 3） 家族介護者の介護の実状と必要な社会支援について理解する。 4） BPSD を呈する認知症高齢者への対応について考察する。
認知症高齢者の看護・実習	1） 身体合併症を有する認知症高齢者への医療とケアの実際を理解する。 2） その人中心のケアの理念に基づく病棟運営の実際を理解する。 3） 習得した知識・技術に基づき認知症高齢者に関わり、認知症ケアが実践できる。 4） 認知症ケア推進のためのチームアプローチ、組織的活動について理解する。 5） これまでの認知症高齢者との関わりを省察し、今後の自部署での認知症ケアの展望や目標を持てる。 ※これまでに「認知症高齢者の看護」の講座を受講した者に限る

3．各講座の講師・主な内容・時間割

講師は、主に国立長寿医療研究センターの病院及び研究所のスタッフが担当しています。開講講座の科目目標に照らして、実践的な知識が習得できるよう、臨床経験や専門知識が豊富な外部講師の講義もあります。

各講座の講義は、3 日間の短期集中講義形式で開催し、90 分 1 コマで行います。教育機関の単位制の数え方と統一させ 1 コマは 2 時間と換算しています。

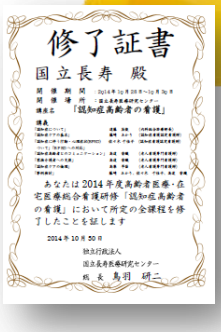
高齢者の医療とケア1

2015.9.2(水)～9.4(金)

高齢者の医療とケア１（16 時間）	講師・講義テーマ（講義順）
鳥羽　研二（理事長）	高齢者の医療・高齢者医療施策
笠井　雅信（輸血管理室医長）	高齢者の検査データの見方
吉田　正貴（手術・集中治療部長）	高齢者の排尿障害
角　　保徳（歯科口腔先端診療開発部長）	命を支える口腔ケア
伊藤　史朗（摂食・嚥下障害看護認定看護師）	口から食べるということ
鈴木　葉子（摂食・嚥下障害看護認定看護師）	認知症高齢者の摂食嚥下へのケア
鷲見　幸彦（副院長）	代表的な神経疾患・神経所見の見方
伊藤史朗・鈴木葉子	事例検討

時限	講義時間	1 日目 9 月　2 日（水）	2 日目 9 月　3 日（木）	3 日目 9 月　4 日（金）
		10:00～10:25 開講式・オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	鳥羽(90) 高齢者の医療・施策	角(90) 命を支える口腔ケア	鷲見(90) 代表的な神経疾患・ 神経所見の見方
2	13:00～14:30	笠井(90) 高齢者の検査データ	伊藤(90) 口から食べるということ	伊藤・鈴木(90) 事例検討
3	14:45～16:15	吉田(90) 高齢者の排尿障害	鈴木(90) 認知症高齢者の 摂食・嚥下	14:40～15:30 アンケート・修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

欠席・欠課なく、全講義を
受講した受講者の方には、
最終日に修了証を授与します。





高齢者の医療とケア2

2015.9.16(水)～9.18(金)

高齢者の医療とケア２（16 時間）	講師・講義テーマ（講義順）
原田　敦（病院長）	ロコモティブシンドローム
遠藤　英俊（長寿医療研修医センター長）	高齢者生活機能評価（CGA）について
島田　裕之（予防老年学研究部長）	認知症予防・コグニサイズ
三浦　利奈（精神療法部心理療法主任）	高齢者の心理
服部　英幸（精神診療部長）	せん妄
清水　敦哉（循環機能診療科医長）	高齢者の救急医療
溝神　文博（薬剤部薬剤師）	高齢者の薬物療法
髙道　香織（老人看護専門看護師）	事例検討

時限	講義時間	1 日目 9 月　16 日（水）	2 日目 9 月　17 日（木）	3 日目 9 月　18 日（金）
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	原田（90） ロコモティブシンドローム	三浦（利）(90) 高齢者の心理	溝神(90) 高齢者の薬物療法
2	13:00～14:30	遠藤（90） CGA	服部(90) せん妄	髙道(90) 事例検討
3	14:45～16:15	島田(90) コグニサイズ	清水(90) 高齢者の救急医療	14:40～15:30 アンケート・修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

※鳥羽研二講師の講義は都合により、遠藤英俊講師へ変更となりました（5 月 18 日）

高齢者の医療とケア3

2015.11.4(水)～11.6(金)

高齢者の医療とケア３（16 時間）	講師・講義テーマ（講義順）
千田　一嘉（臨床研究企画室長）	COPD・高齢者の肺炎
前川　裕子（感染管理認定看護師）	高齢者の感染症と看護
磯貝　善蔵（皮膚科医長）	高齢者の皮膚疾患・褥瘡
横山　剛志（排尿機能検査士）	高齢者の排泄障害とケア
平野　優（臨床高度実践看護師）	臨床推論について
清水　敦哉（循環機能診療科医長）	高齢者の循環器医療
髙道　香織（老人看護専門看護師）	高齢者の意思決定支援、事例検討

時限	講義時間	1 日目 11 月　4 日（水）	2 日目 11 月　5 日（木）	3 日目 11 月　6 日（金）
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	千田(90) COPD・高齢者の肺炎	横山(90) 高齢者の排泄障害とケア	髙道(90) 高齢者の意思決定支援
2	13:00～14:30	前川（90） 高齢者の感染症と看護	平野(90) 臨床推論について	髙道(90) 事例検討
3	14:45～16:15	磯貝(90) 高齢者の皮膚疾患・褥瘡	清水(90) 高齢者の循環器治療	14:40～15:30 アンケート・修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者の在宅医療

2015.10.5(月)～10.7(水)

高齢者の在宅医療（16 時間）　講師・講義テーマ（講義順）	
銘苅　尚子（副地域医療連携室長）	退院支援の基礎知識
太田　秀樹（医療法人アスムス理事長）	在宅医療と地域連携
上地　小与里（株式会社ファーコスほのか薬局　薬剤師）	訪問薬剤師の実践活動
大島　浩子（長寿看護・介護研究室長）	在宅の看取りについて
住江　浩美（地域医療連携室退院調整看護師）	在宅医療管理技術
突田　和　（愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程主任教員）	訪問看護について
髙見　雅代（医療ソーシャルワーカー）	高齢者医療・福祉制度
髙道　香織（老人看護専門看護師）	事例検討

時限	講義時間	1 日目 10 月　5 日(月)	2 日目 10 月　6 日(火)	3 日目 10 月　7 日(水)
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	銘苅(90) 退院支援	大島(90) 在宅の看取り	髙見(90) 高齢者医療･福祉制度
2	13:00～14:30	太田(90) 在宅医療と地域連携	住江(90) 在宅医療管理技術	髙道(90) 事例検討
3	14:45～16:15	上地(90) 訪問薬剤師の実践活動	突田(90) 訪問看護について	14:40～15:30 アンケート･修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者のフレイルと予防ケア

2015.11.18(水)～11.20(金)

高齢者のフレイルと予防ケア（16 時間）　講師・講義テーマ（講義順）	
佐竹　昭介（フレイル予防医学研究室長）	Frail・サルコペニアについて
櫻井　孝　（もの忘れ外来部長）	認知症診断と治療
金子　康彦（NHO 三重中央医療センター栄養管理室長）	高齢者の栄養評価
鈴木　隆雄（理事長特任補佐）	エビデンスに基づく介護予防
服部　英幸（精神診療部長）	高齢者のうつ
高梨　早苗（老人看護専門看護師）	高齢者の生活の支援
徳田　治彦（臨床検査部長）	骨粗鬆症
髙道　香織（老人看護専門看護師）	事例検討

時限	講義時間	1 日目 11 月　18 日(水)	2 日目 11 月　19 日(木)	3 日目 11 月　20 日(金)
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	佐竹(90) Frail ・サルコペニア	鈴木(90) ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽに基づく介護予防	金子(90) 高齢者の栄養評価
2	13:00～14:30	櫻井(90) 認知症診断と治療	服部(90) 高齢者のうつ	髙道(90) 事例検討
3	14:45～16:15	徳田(90) 骨粗鬆症	高梨(90) 高齢者の生活の支援	14:40～15:30 アンケート･修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

高齢者のリハビリテーション

2015.11.25(水)～11.27(金)

高齢者のリハビリテーション（16 時間）	講師・講義テーマ（講義順）
荒井　秀典（副院長）	フレイルについて
近藤　和泉（機能回復診療部長）	高齢者のリハビリテーション総論
杉浦　彩子（耳鼻咽喉科医師）	高齢者の感覚器機能・嚥下機能
浅野　直也（副理学療法士長）	高齢者リハビリテーションのポイント
伊藤　直樹（第一理学療法主任）	転倒予防とリハビリテーション
谷本　正智（第二理学療法主任）	内部疾患に対するリハビリテーション
橋爪　美春（第二作業療法主任）	がんに対するリハビリテーション
小早川千寿子（第三理学療法主任）	地域包括ケア病棟におけるﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ
植田　郁恵（第一作業療法主任）	認知症に対するリハビリテーション
原田　恵司（言語聴覚療法主任）	嚥下障害に対するリハビリテーション
新美　千佳（脳卒中ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ看護認定看護師）	脳卒中リハビリテーション看護
新美　千佳・髙道　香織	事例検討

時限	講義時間	1 日目 11 月 25 日(水)	2 日目 11 月 26 日(木)	3 日目 11 月 27 日(金)
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	荒井(90) フレイルについて	浅野・伊藤(90) リハのポイント・転倒予防	新美(90) 脳卒中リハビリ看護
2	13:00～14:30	近藤(90) 高齢者のリハビリ総論	谷本・橋爪・小早川(90) リハビリ各論	新美・髙道(90) 事例検討
3	14:45～16:15	杉浦(90) 高齢者の感覚器・嚥下	植田・原田(90) リハビリ各論	14:40～15:30 アンケート・修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	



各講座には、
テキストが
あります。





認知症高齢者の看護

① 2015. 9.7(月)～ 9.9(水)
② 2015.12.1(火)～12.3(木)

認知症高齢者の看護（16 時間） 講師・講義テーマ（講義順）	
遠藤　英俊（長寿医療研修センター長）	認知症について
藤崎　あかり（認知症看護認定看護師）	認知症ケアの基本
猪口　里永子（老人看護専門看護師）	認知症の人とのコミュニケーション
荒井　由美子（長寿政策科学研究部長）	認知症と自動車運転 ～家族の介護負担と社会支援～
高梨　早苗（老人看護専門看護師）	認知症ケアの倫理
佐々木千佳子（認知症看護認定看護師）	BPSD への対応
藤崎　あかり、佐々木千佳子、髙道　香織	事例検討

時限	講義時間	1 日目 ① 9 月 7 日(月) ② 12 月 1 日(火)	2 日目 9 月 8 日(火) 12 月 2 日(水)	3 日目 9 月 9 日(水) 12 月 3 日(木)
		10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1	10:30～12:00	遠藤(90) 認知症について	荒井(由)(90) 認知症と自動車運転	高梨(90) 認知症ケアの倫理
2	13:00～14:30	藤崎(90) 認知症ケアの基本	佐々木・藤崎・髙道(90) 事例検討	佐々木(90) BPSD への対応
3	14:45～16:15	猪口(90) コミュニケーション	佐々木・藤崎・髙道(90) 事例検討	14:40～15:30 アンケート・修了式
予備	16:20～17:15	アンケート	アンケート	

※　認知症高齢者の①と②は同じ講義内容です。
※　9 月 7 日(月)は、1 時限目と 2 時限目を入れ替えて講義予定です。

認知症高齢者の看護・実習（20 時間）

第 1 クール　2015.10.14(水)～10.16(金)
第 2 クール　2015.11.11(水)～11.13(金)
第 3 クール　2015.12.9(水)～12.11(金)

時限	実習時間	1 日目 ① 10 月 14 日(水) ② 11 月 11 日(水) ③ 12 月 9 日(水)	2 日目 10 月 15 日(木) 11 月 12 日(木) 12 月 10 日(木)	3 日目 10 月 16 日(金) 11 月 13 日(金) 12 月 11 日(金)
1	8:30～12:00	オリエンテーション 事例紹介	モーニングカンファレンス 受け持ち高齢者との かかわり	受け持ち高齢者との かかわりのリフレクション 演習
2	13:00～17:00	認知症ケアチーム会見学 受け持ち高齢者との かかわり カンファレンス	受け持ち高齢者との かかわり	13:00～14:30 演習成果発表 14:40～15:30 修了式
予備		アンケート	アンケート	

高齢者のエンドオブライフ・ケア

2014.12.14(月)～12.16(水)

高齢者のエンドオブライフ・ケア（16 時間）	講師・講義テーマ（講義順）
浅見　洋（石川県立看護大学教授）	死生観と EOL ケア
櫻井　智穂子（東京医療保健大学医療保健学部看護学科准教授）	EOL ケアの基本について
西川 満則（緩和ケア診療部医師） 久保川直美（緩和薬物療法認定薬剤師）	症状緩和について
百瀬由美子（愛知県立大学看護学部教授）	高齢者の権利擁護・倫理
高梨　早苗（老人看護専門看護師）	EOL ケアにおけるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ
大石　醒悟（兵庫県立姫路循環器病センター循環器内科医長）	特別講義　心不全の緩和ケア
髙道　香織（老人看護専門看護師）	事例検討
三浦　久幸（在宅連携医療部長）	老いや死の価値

時限　講義時間	1 日目 12 月　14 日(月)	2 日目 12 月　15 日(火)	3 日目 12 月　16 日(水)
	10:00～10:20 オリエンテーション	―	―
1　10:30～12:00	浅見(90) 死生観と EOL ケア	百瀬(90) 高齢者の権利擁護・倫理	髙道(90) 事例検討
2　13:00～14:30	櫻井(智)(90) EOL ケアの基本	高梨(90) EOL ケアにおける コミュニケーション	三浦(90) 老いや死の価値
3　14:45～16:15	西川・久保川(90) 症状緩和	大石(90) 心不全の緩和ケア	14:40～15:30 アンケート･修了式
予備　16:20～17:15	アンケート	アンケート	

昨年度の研修の様子

講義、事例検討
演習など



4．受講資格・募集定員・研修費

【受 講 資 格】 経験 3 年以上の看護師
【募 集 定 員】 講義は定員 100 名、実習は定員 5 名
【研　修　費】 講義 20,000 円／3 日間、実習 6,000 円／3 日間

講座名（開催順）	日程	研修方法	期間	時間数	研修費
高齢者の医療とケア１	9/2(水)～9/4(金)				
認知症高齢者の看護	① 9/7(月)～9/9(水)				
高齢者の医療とケア２	9/16(水)～9/18(金)				
高齢者の在宅医療	10/5(月)～10/7(水)				
高齢者の医療とケア３	11/4(水)～11/6(金)	講義	3 日間	16 時間	20,000 円
高齢者のフレイルと予防ケア	11/18(水)～11/20(金)				
高齢者のリハビリテーション	11/25(水)～11/27(金)				
認知症高齢者の看護	② 12/1(火)～12/3(木)				
高齢者の EOL ケア	12/14(月)～12/16(水)				
認知症高齢者の看護・実習	10/14(水)～10/16(金) 11/11(水)～11/13(金) 12/9(水)～12/11(金)	実習	3 日間	20 時間	6,000 円

※ 宿泊および交通費、教材費、図書費、食費等については、受講者の自己負担とする。
※ 講義は 8 名以上から実施。実習は 3 名以上から実施。

5．研修申し込み方法

1） 募集要項最終ページの研修申込書に必要事項を記載し、国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター内高齢者医療・在宅医療総合看護研修事務局宛てに郵送してください。
封筒には「総合看護研修申込書在中」とお書きください。

【研修申込書 郵送先】
〒474-8511 愛知県大府市森岡町 7-430
国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター
高齢者医療・在宅医療総合看護研修 事務局

2） お一人で複数の講座の受講も可能です。

3） 申し込み締め切り **2015 年 6 月 30 日（火）消印有効**

６．研修会場について ～教育研修棟のご案内～

2015 年 4 月 1 日、当センター敷地内に教育研修棟が完成しました。研修の会場は、教育研修棟1階の大研修室です。新設の会場で、学習することができます。


教育研修棟外観


大研修室

教育研修棟には宿泊室もあります。全室ユニットバス、エアコン完備、インターネット対応（有線・無料）です。共用スペースとして、談話室もあり研修受講者との交流も可能です。研修会場と同じ施設内ですので、大変便利な環境です。どうぞご利用ください。

なお、宿泊室は全 30 室で、限りがあります。お早目にお申込み下さい。

● アメニティ

※基本的には個人でご準備ください

×	タオル類	×	シャンプー・リンス	○	トイレットペーパー	×	目覚まし時計
×	パジャマ	×	石けん	×	ティッシュ	○	冷蔵庫
×	歯ブラシ・歯磨き粉	×	ボディソープ	×	テレビ・ビデオ	○	LAN ケーブル
×	髭剃り	×	ドライヤー	×	パソコン	○	電気ポット
×	くし・ブラシ	×	温水洗浄トイレ	×	電話機		

● 施設・サービス

○	ユニットバス（宿泊室）	○	IH コンロ（談話室）	×	コピー機
○	エアコン（宿泊室）	○	テレビ（談話室）	○	シーツ交換（週1回）
○	洗濯機・乾燥機（共用）	○	パソコン（談話室）	○	宿泊室トイレ清掃（週1回）
○	電子レンジ（談話室）	×	プリンター	○	貸し自転車（3 台）

チェックイン　16:00～17:15
チェックアウト　10:00

● 宿泊予約

国立長寿医療研究センターホームページ TOP から長寿医療研修センターを選んでください。そちらに宿泊予約申し込み書がアップされています。必要事項を記載の上、FAX・Eメール・郵送のいずれかでお送りください。お申し込み先着順にご案内させていただきます。

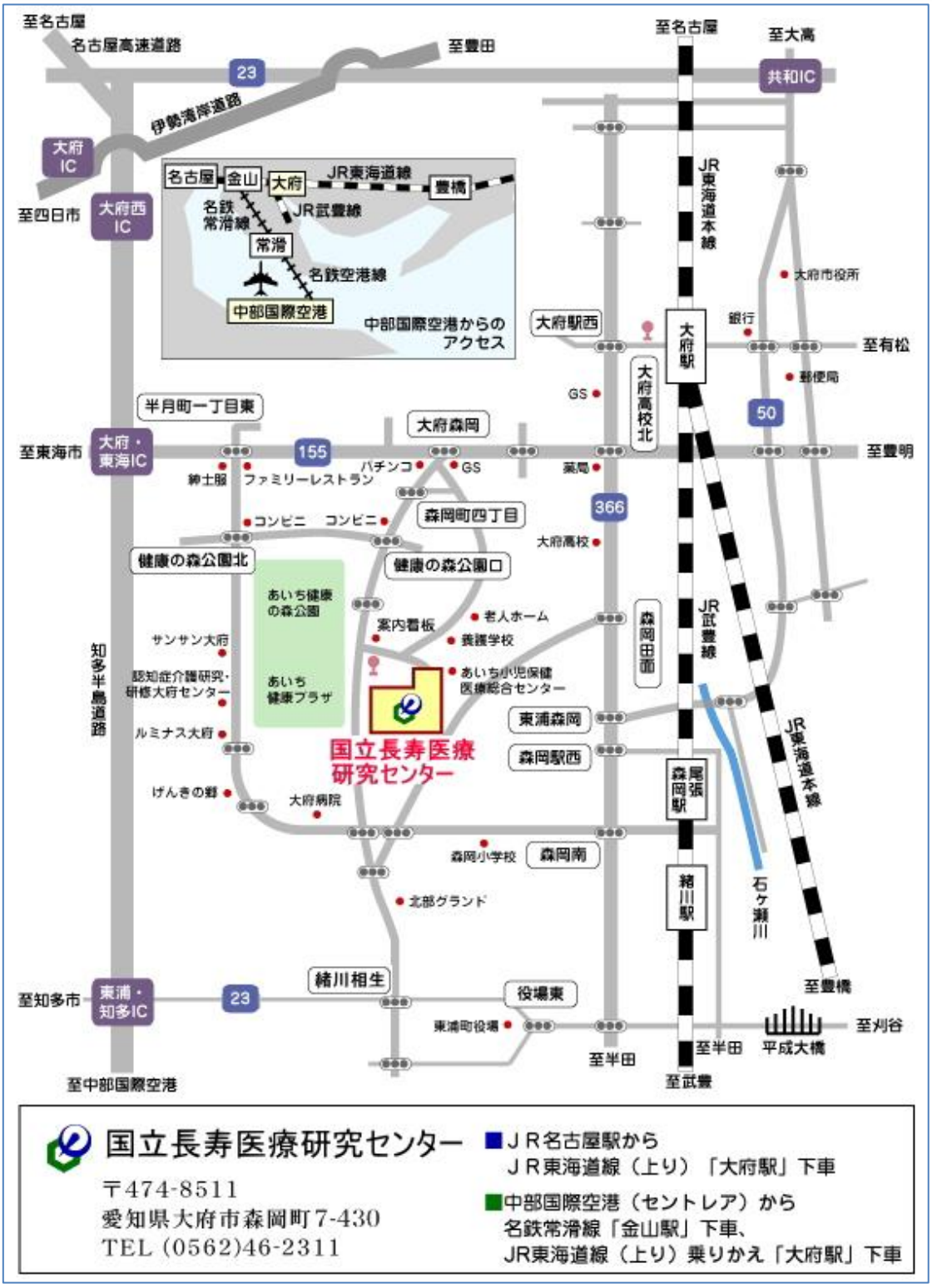
宿泊予約のお電話による申込みには応じておりませんので、ご注意ください。


宿泊室


談話室

宿泊費
1 泊 3,000 円

7．アクセス・問合せ先



国立長寿医療研究センター

〒474-8511
愛知県大府市森岡町7-430
TEL (0562)46-2311

■ＪＲ名古屋駅から
ＪＲ東海道線（上り）「大府駅」下車

■中部国際空港（セントレア）から
名鉄常滑線「金山駅」下車、
JR東海道線（上り）乗りかえ「大府駅」下車

【問合せ先】
〒474-8511　愛知県大府市森岡町 7-430　国立長寿医療研究センター
長寿医療研修センター　高齢者医療・在宅医療総合看護研修事務局
研修内容等の問合せ　看護研修室長　髙道　香織（takamiti@ncgg.go.jp）
研修費振込、事務手続き等の問合せ　研修管理係長　正田　篤（shoudaa@ncgg.go.jp）

TEL 代表 056-246-2311

2015 年度 高齢者医療・在宅医療 総合看護研修申込書

申し込み日　　年　　月　　日

● 研修科目：希望する研修に〇印をつけてください

	高齢者の医療とケア 1	9/2(水)～9/4(金)
	認知症高齢者の看護①	9/7(月)～9/9(水)
	高齢者の医療とケア 2	9/16(水)～9/18(金)
	高齢者の在宅医療	10/5(月)～10/7(水)
	高齢者の医療とケア 3	11/4(水)～11/6(金)
	高齢者のフレイルと予防ケア	11/18(水)～11/20(金)
	高齢者のリハビリテーション	11/25(水)～11/27(金)
	認知症高齢者の看護②	12/1(火)～12/3(木)
	高齢者のエンドオブライフ・ケア	12/14(月)～12/16(水)
開催番号	認知症高齢者の看護・実習 ※「認知症高齢者の看護」の講義を受けた者に限る	①10/14(水)～10/16(金) ②11/11(水)～11/13(金) ③12/9(水)～12/11(金)

● 研修申込者

ふりがな 氏名			
生年月日	年　月　日(　歳)	性別	男性・女性
勤務先施設名			
勤務場所 (主な診療科)	(　)		
書類等送付先	自宅・勤務先		
書類送付先 住所及び 電話番号	〒　－ Tel　－　－		
メールアドレス			
看護師 実務経験年数	通算　年　ヶ月		

※ 個人情報は、本研修に関する事業以外には利用しません。

※ 複数枚必要な際は、コピーしてご使用ください。